



な っ と く ん の

山口県立山口博物館 学校地域連携担当

2019年 9月20日 No.235

なるほどなっとくニュース

なっとくんの「なるほどなっとくニュース」は、県立山口博物館ホームページでダウンロードすることができます。

CM

Community Museum
地域の宝 学校の宝

せんねん とき こ さ はな おおが 2千年の時を超えて咲く花「大賀ハス」

みなさんもよく知っている、奈良県東大寺の大仏。その大仏の原料となる銅を産出したとされ、「奈良の大仏のふるさと」とも言われる場所が、美祢市美東町にある国史跡長登銅山跡です。7月に山前授業を行った美祢市立大田小学校からも車ですぐの場所にあり、併設された長登銅山文化交流館では、様々な展示資料から銅生産の歴史を学ぶことができます。その文化交流館の横にある池で、なっとくんはたいへん貴重な植物を見つけました。



大賀ハス



おおぎり 4号坑 (古代の坑口)



「からみ」(製錬カス)



文化交流館横の池で見つけた植物は、「大賀ハス」と言うそうです。でも、普通のハスではないんだよ！なんと、大賀ハスは1951(昭和26)年3月に千葉県千葉市の落合遺跡で発掘した2千年前のものと

言われているハスの種を、植物学者の大賀一郎博士が発芽させ、

開花したものなんだって！その後、国内はもとより世界

各地に株分けされて、平和のシンボルになっているそう

です。ここ長登の大賀ハスは、2014(平成26)年3月に

山口大学から譲り受けたものだそうです。

2千年前の人たちも、ぼくと同じように

この花を見ていたと思うと、ワクワクする

なっ！！



ハスの花 (午後)



ハスの池



ハスの実